

多々良沼・城沼魚類採捕調査説明資料(平成30年5月27日)

NO	種別	科名	種名	1950		1960~2000		2004~2006		2014~2017		備考		
				2006関根の報告より				関根らの確認		本協議会の調査				
				多々良沼	城沼	多々良沼	城沼	多々良沼	城沼	多々良沼	城沼			
1	在来種	ウナギ科	ウナギ	○	○	○	○	○	○	○	○	毎年放流あり		
2		アユ科	アユ					○				一時期見られたのは、自然遡上または放流流下?		
3		キュウリウオ科	ワカサギ	○	○			○	○			城沼では毎年卵放流あり		
4		サケ科	サケ					△	△			一時期見られたのは、自然遡上?		
5		コイ科	ウグイ	○				○	△				生息量少ない?(河川生息が適しているから?)	
6			アブラハヤ					△	△				生息量少ない?(河川生息が適しているから?)	
7			カマツカ	○	○	○	○	○		○			多々良沼に多少見られる	
8			モツゴ	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	魚類では生息数最大	
9			シナイモツゴ	○	○								群馬では絶滅	
10			ニゴイ	○		○		○	○	○	○	○	生息量は少ない	
11			コイ	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	生息数は多数と思われる	
12			キンブナ	○	○	○	○	○	△	○			両沼ではあまり見られていない。群水試で種保存	
13			ギンブナ	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	生息量は多い。群水試で種保存	
14			タナゴ	○	○								群馬では絶滅	
15		ヤリタナゴ	○	○								両沼では長年見られず、群水試で藤岡市産を種保存		
16		ミヤコタナゴ		○								群馬では絶滅		
17		アカヒレタビラ		○								群馬では絶滅		
18		ゼニタナゴ	○	○								群馬では絶滅		
19		ナマズ科	ナマズ	○	○	○	○	○	○	○	○		生息量は少ないが、安定して生息	
20		ドジョウ科	ドジョウ	○	○	○	○	○	○	○	○	△	多数生息と思われるが、採捕方法が?	
21			シマドジョウ	○	○								両沼では長年見られず	
22			ホトケドジョウ	○									両沼では長年見られず	
23		ギギ科	ギバチ	○	○								両沼では長年見られず	
24		メダカ科	メダカ	○	○	○		△		○	△		両沼では希少種となっている	
25		ボラ科	ボラ		○								海からの遡上ができなくなっている?	
26		ハゼ科	トウヨシノボリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	生息量少なくな、比較的安定して生息	
27			ヌマチチブ	○	○								両沼では長年見られず	
28			ジュスカケハゼ		○								多々良沼では報告なし、城沼では長年見られず	
29			ウキゴリ	○	○								最近生息量が徐々に増え復活か?	
1	移入種	コイ科	オイカワ	○	○	○	○	○		○	○		安定して生息か?	
2			ハス			○	○	○		○			生息量は少ない	
3			ワタカ			○	○	○		○	○		生息量は少ない	
4			ツチフキ			○	○	○	○	○	○		生息量も比較的多く、安定して生息	
5			タモロコ(ホンモロコ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	生息量も比較的多く、安定して生息	
6			ホンモロコ			○		○					多々良沼だけ見られ、生息不安定	
7			スゴモロコ			○	○	○	○	○	○	○	比較的安定して生息	
8			ビワヒガイ	○	○			○		○			多々良沼で見られ、生息量は少ない	
9			ゲンゴロウブナ	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	毎年多数放流されている	
1	外来種	コイ科	タイリクバラタナゴ	○	○	○	○	○	○	○	○		生息量も比較的多く、安定して生息	
2			ハクレン										最近ほとんど見られない	
3			ソウギョ										最近ほとんど見られない	
4			アオウオ						△				最近ほとんど見られない	
5		カダヤシ科	カダヤシ						△				最近ほとんど見られない	
6		ギギ科	コウライギギ							○	○		最近生息量をかなり増やしている	
7		タイワンドジョウ科	カムルチー	○	○	○	○	○	○	○	○		生息量は少ないが、安定して生息	
8		バス科	オオクチバス			○	○	○	○	○	○		生息量も比較的多く、安定して生息	
9			コクチバス									△	確認数は些少、繁殖は?	
10			ブルーギル			○	○	○	○	○	○	○	生息量も比較的多く、安定して生息	
11		アメウリディ科	アメリカナマズ						△				確認数は些少、繁殖は?	
1	在来種	イワガニ科	モクズガニ								○	毎年遡上あり		
2		テナガエビ科	スジエビ								○	◎	生息量も多く、安定して生息	
3		テナガエビ									○	◎	生息量も比較的多く、安定して生息	
4		ヌマエビ科	ヌマエビ類								○	◎	生息量も比較的多く、安定して生息	
5		タニシ科	ヒメタニシ								○	○	生息量も比較的多く、安定して生息	
6		イシガイ科	ドブガイ									○	○	発見数は少ないが、タナゴ類の繁殖に不可欠
7			イシガイ										○	○
1	外来種	ヌマガメ科	ミシシッピーアカミミガメ								○	○	安定して生息か?	
2	アカガエル科	ウシガエル(幼生)									○	○	安定して生息か?	
3	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ									○	○	安定して生息か?	
魚類種数				28	29	22	26	31	23	24	23			
エビ・カニ・貝類種数										8	10			
総種類数計				28	29	22	26	31	23	32	33			

※1 確認欄の○は調査で確認されているもの
 ※2 確認欄の△は同上調査で確認されていないが、同調査以外で確認されている。
 ※3 表中種名欄の背景を塗りつぶしたものは「特定外来種」を示す。

○前年、前々年との比較について

・多々良沼

多々良沼においては2015年から同様の調査を実施しているため比較を行った。但し大型定置網を初年は4回実施したのでそれを3回分の数値(1~3回)にして比較表にした。魚類ではモツゴが、甲殻類ではスジエビが突出して多いことは同様である。本年の調査で新たに確認されたのはハスであるが、従来から生息することは知られている。また、逆に本年確認できなかったのはウナギ、カマツカ、メダカ(ミナミメダカ)、爬虫類ではミシシッピ-アカミミガメ、両生類でヌマガエル、甲殻類でシナヌマエビ、アメリカザリガニである。

表 13 多々良沼での採取個体数の比較(2015~2017年)

分類		種名	2015年	2016年	2017年			
脊 椎 動 物	魚類	ウナギ	ウナギ	2	○			
		コイ	モツゴ	2504(換算)	824	3706(換算)		
			フナ類	519	160	559		
			コイ	○	3	3		
			タイリクバラタナゴ	180	78	8		
			タモロコ	98	2	484		
			ツチフキ	33	16	37		
			ハス			2		
			カマツカ	7	1			
			オイカワ	19	69	32		
			ワタカ	7	3	3		
			スゴモロコ	15	31	88		
			ビウヒガイ	1	1	1		
			ニゴイ		2	19		
			ギギ	コウライギギ	8	27	52	
			ナマズ	ナマズ		○	○	
			ドジョウ	ドジョウ	○	○	○	
			メダカ	メダカ(ミナミメダカ)	○	○		
	物	サンフィッシュ		ブルーギル	46	13	27	
				オオクチバス	5	1	6	
			ハゼ	トウヨシノボリ類	1	1	○	
			ウキゴリ	1	1	○		
		タイワンドジョ	ライギョ	3	1	3		
爬虫類		イシガメ	ミシシッピ-アカミミガメ	2	2			
両生類		アカガエル	ウシガエル	9	○	○		
			ヌマガエル	○	○			
無脊 椎動 物		節足動物	甲殻類	テナガエビ	スジエビ	22381(換算)	9332(換算)	6033(換算)
					テナガエビ	122(換算)	15	32
			ヌマエビ	シナヌマエビ	○	○		
			ザリガニ	アメリカザリガニ	5	○		
	軟体動物	巻貝 二枚貝	タニシ	ヒメタニシ	○	○	○	
			イシガイ	ドブガイA型	○	○	○	
				ドブガイB型	○	○	△	

個体数は大型定置網3回の個体数

※ ○は大型定置網以外での確認種

※※△は殻のみの確認

・城沼

城沼では前年に調査をおこなっているのので、それとの比較をおこなった。本年はオイカワ、ワタカ、スゴモロコ、ニゴイ、ナマズ、ウキゴリの採取が無く、両生類でもヌマガエル、甲殻類でシナヌマエビの確認がなかった。また、貝類調査を行ったことにより、ヒメタニシが確認された。

表 14 城沼での採取個体数の比較(2016・2017年)

分類		種名	2016年	2017年		
脊 椎 動 物	魚 類	キュウリウオ	ワカサギ	570	440	
		ウナギ	ウナギ	1	1	
		コイ	モツゴ	5665(換算)	7227(換算)	
			フナ類	220	876	
			コイ	15	48	
			タイリクバラタナゴ	96	32	
			タモロコ	274	105	
			ツチフキ	119	839	
			ハス			
			カマツカ			
		オイカワ	1			
		ワタカ	2			
		スゴモロコ	1			
		ビワヒガイ				
	ニゴイ	1				
	ギギ	コウライギギ	1	1		
	ナマズ	ナマズ	5			
	ドジョウ	ドジョウ				
	メダカ	メダカ(ミナミメダカ)				
	物	サンフィッシュ	ブルーギル	266	195	
オオクチバス				1		
ハゼ		トウヨシノボリ類	24	13		
		ウキゴリ	1			
タイワンドジョウ	ライギョ	4				
爬虫類	イシガメ	ミシシッピ-アカミミガメ	1	3		
両生類	アカガエル	ウシガエル				
		ヌマガエル	1			
無 脊 椎 動 物	節 足 動 物	甲殻類	テナガエビ	スジエビ	12404(換算)	20105(換算)
				テナガエビ	9	55
			ヌマエビ	シナヌマエビ	1	
			ザリガニ	アメリカザリガニ	22	4
			イワガニ	モクズガニ	1	1
	軟 体 動 物	巻 貝 二 枚 貝	タニシ	ヒメタニシ	—	○
			イシガイ	ドブガイA型	—	△
				イシガイ	—	△

個体数は大型定置網3回の個体数

※ ○は大型定置網以外での確認種
※※△は古城沼幹線排水路での確認

(出典) 多々良沼・場沼自然再生協議会事業魚類モニタリング調査業務委託